



設定

18 禁小説です。盗撮カメラ付きのホテルで行為に及んでいたゲイカップルが
催涙ガスで眠らされ、監禁。○漬けにされながら調教されていくお話です。

本編ではノンケの拓斗が寝取られた上で、調教され、男相手に売りをさせられていましたが、番外編ではゲイの S タチを主人公としています。拓斗も一部登場し、本編のその後の様子を描いています。

言葉責め、蝋燭、中出し、羞恥入墨、スキンヘッド、水責め、ストリップ、尿道責め、ドライオーガズム、輪○、小便ぶっかけ等

16000 字程度の作品で、画像のみ AI で作成しています。

登場人物

田沢 亮(たざわ りょう) 25 歳

ホテル従業員で拓斗と美香の同級生。本編では美香の前で拓斗に男とのセックスを強要していた。

大久保 翔(おおくぼ しょう) 28 歳

ゲイでポジションは S タチ。彼氏の名前は陸。彼氏以外にもセフレがいて野外で調教をしたりしている。

杉田 拓斗(すぎた たくと) 25 歳

営業マン。空手有段者。男らしく、真面目で一途。NTR ホテルの餌食となり、彼女の前で調教されたうえに、男相手の風俗で働かされるようになった。

調教

淡いオレンジ色の照明があたたかな空気をつくるホテルの部屋。ベッドの端に座る陸は、どこか落ち着かない様子で指先をもぞもぞ動かしていた。

「興奮しているの？」

翔がゆっくり歩いてきて、陸の顎先を軽く指で持ち上げる。

「……興奮なんて、してない」

陸は目をそらす、その耳はほんのり赤い。

「ふーん？じゃあ、顔真っ赤なのはどうして？」

翔の声は低く、わざと意地悪な口調。陸は小さく肩を震わせ、視線を戻すことができない。翔の声に弱いことを、彼自身よくわかっているからだ。

「陸ってき、言葉だけでこんなに反応するの、可愛いよね」

翔は陸の股間を握りながら言い、陸の呼吸がまた浅くなる。

「いじわる……」

「意地悪してるんじゃないくて、事実を言ってるだけ。ほら、目合わせて。ちゃん

と、俺を見て？」

その言い方がまた陸の胸を締めつける。視線を上げると、翔は優しく、でもどこか余裕のある笑みを浮かべていた。

「……そんな顔で見られたら……落ち着かない」

「落ち着かなくしてるんだよ。陸が可愛いから」

翔は陸の隣に腰を下ろし、そっと肩を抱き寄せる。その仕草は意地悪とは真逆で、驚くほど優しい。その時間がずっと続けばいいと思いながら、陸は翔に体を預けていた……。

「さあ……そろそろ始めようか……全裸になれよ……」

「はい……ご主人様……」

翔の声のトーンが変わる。陸はだまって服を脱ぐと、その服の下に身に着けた、貞操帯、乳首ピアス、首輪をさらす。アナルではバイブがうねっている。

「はあ……はあ……はあ……」

「全裸さらしただけで興奮してる。変態だな。ほらお願いしろよ」

「翔さま、どうか……変態奴隷の陸の……調教をお願いします……はあ……はあ……」

翔は土下座している陸の頭をふみながらニヤけている。陸を仰向けに寝か

せ、両足を抱えた状態でロープで拘束し、目隠しをする。

陸が動けば動くほど、ロープは体に食い込み、体を刺激している。その支配されている感覚にうっとりしながら、暗い視界の中、翔の気配を必死に感じようとしていた……。

「縛られただけで……こんなビンビンにさせてどうしたんだ？」

「ぐう……恥ずかしくて……」

バシンッ！

「そうじゃないだろう……」

「はい……すいません…変態ドMなので……縛られて……いじめられて……興奮しています……」

「アナルをどうしてほしい……？」

「翔さまの気の済むまで……ぐちゃぐちゃに犯してほしいです……」

翔は陸のアナルに入っているパイプを抜くと、玉が連なっている形状のディルドを代わりに挿入していく。手元に近い玉ほど大きくなっており、入れれば入れるほどアナルへの圧迫感が強くなっていく。

「ぐう……ふぐう……ううう……うう……♡」

「お前のケツマンコどんどんでかい玉を飲み込んでるぜ……」

「ああ……変態なケツマンコにさせていただいて……ありがとうございます……

翔さま……ふうっ……うう……ッ♡」

「アナルにこんな突っ込まれて、チンポビンビンにはずかしくねえのかよ、変態が。ほら、最後の玉いくぞ……」

「ぐうふう……うう……うぎい……はあ……はあ……」

視界を奪われている中、そのアナルに感じる圧迫感、苦痛、快感だけに支配されていく。陸はうっとりとした表情をうかべながら、体をふるわせ、翔のしつけを受け入れていた。

すべてを飲み込むと、翔は何も言わずにそのせっかく飲み込んだものを一気に引き抜く。

「ぐうう！ふがあああ……♡うう……♡」

「お前のアナル空洞できて、閉じ切れてないぜ。ものほしように引くついている」

「う……はい……ほしいです……翔さまの……おちんぽがほしいです……お〇〇……」

「俺のちんぽでどうしてほしいんだ？」

「ああ……翔さまの……おちんぽで……中をかき回して、じゅぽじゅぽ突いて……もっと淫乱なおマンコに……してほしい……あつ、ああ……です……最後はなかに……翔さまの……精液を出されて、受精したいです……ふう……う♡」

翔はだまったまま自身のペニスを陸の中に挿入していく。尻を叩きながら、腰を振り、陸の気持ちいいところをついていく。